

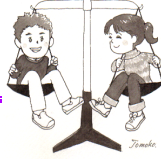


# ドメスティック・バイオレンス 被害者支援のための 研修講座

「DVのない社会をめざして」

この講座は、DVの被害を受けた女性の支援・相談を行なう意志のある人を対象とします。

- 日時 2017年11月4日（コンパル305） 11月5日（コンパル309）  
9：30～12：30 昼食・休憩 13：30～16：30 （一日2講座）
- 受講料 1講座1000円
- 参加対象者 被害者支援活動を希望する人、現在支援活動をしている人
- 申し込み方法 ①氏名、②住所、③電話番号、④現在の所属（ある方）  
2017年10月21日までにメールかハガキでお申し込み下さい。  
e-mail ebanokai@yahoo.co.jp 〒870-8691 大分中央郵便局 私書箱122号

講座1 (11/4) 9：30～ コンパル305	概論1	女性に対する暴力の撤廃宣言 DVの定義 DV被害者の現状 子どもに与える影響	石本宗子さん (社会福祉士)
講座2 (11/4) 13：30～ コンパル305	相談を受ける時の 基本的態度	支援の視点 支援の際の基本態度 支援に際しての留意点	石本宗子さん (社会福祉士)
講座3 (11/5) 9：30～ コンパル309	概論2	私的領域での暴力とは 相談・支援 私たちにできること	吉本寛子 (社会福祉士)
講座4 (11/5) 13：30～ コンパル309	大分市の 行政機関の現状  医療・司法 支援機関の現状	大分市 中央子ども家庭支援センター  弁護士 宇都宮妙さん 精神科医 竹下粧子さん	コーディネート えばの会  

NPO えばの会

女性や子どもやセクシャルマイノリティなどに対する差別や暴力などが重大な人権侵害であることを社会に啓発活動するとともに、非暴力主義と男女平等を視点においた誰もが安全で安心に自由に暮らせる社会の実現を目的としています。

お問合せ先 090-1516-9565 (吉本)



赤い羽根共同募金助成事業

# ～STOP！女性と子どもへの暴力～ DV・性暴力防止啓発講演・研修～☆

2017年 11月 25日 土曜日 10:00～15:30

大分市コンパルホール302号室（定員25人）参加費1,000円 冊子「トラウマと解離」付

## 講演「性暴力その後を生きる～解離について理解を深める」

午前は、性暴力被害やその影響について学ぶ講演です。

午後は性暴力被害などによる症状のひとつの解離について冊子「トラウマと解離」を使いお伝えします。

2017年 11月 26日 日曜日 9:30～16:00

大分市コンパルホール302号室（定員25人） 参加費5,000円

すぐに使えるパワーポイントデータ、講座配布資料、詳しいマニュアル付

## 「デートDVファシリテーター養成研修ミニ in 大分」

NPO法人レジリエンスが実際に中学、高校、大学で使用しているデートDV予防のための講演の方法を学んでいただく研修です。教材（PPT データマニュアル）が付いています。修了者の方は養成研修修了後すぐに、ご自身の活動の中で教材をご活用いただけます。またNPO法人レジリエンスが展開するDV・トラウマからの回復のための連続講座「こころの care 講座」の中の1テーマ「自尊心」についても講座開催ができるようになるファシリテーター養成研修です。テーマ「自尊心」の講座配布資料と詳しいマニュアルも付いています。

デートDV 予防啓発に興味のある方、学校関係者、シェルタースタッフ、相談員の方などぜひご参加ください。

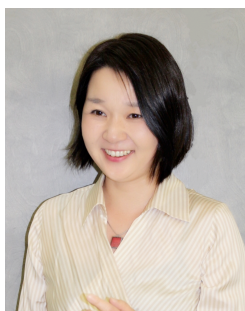
講師 中島幸子さん

講師 西山さつきさん

NPO法人レジリエンス <http://resilience.jp>



代表・米国法学博士  
暴力の被害にあった経験がきっかけとなり勉強を始め2003年に女性のための「こころの care 講座」をスタートさせ、「レジリエンス」を結成



副代表  
全国各地にて、DV・トラウマに関する講演、研修を年間多数行う。中学、高校、大学などでデートDV 予防のための活動も行い、DV・トラウマからの回復のための12回講座「こころの care 講座」の開催を10年以上続けている。

申し込み方法 ①氏名、②住所、③電話番号、④現在の所属（ある方） メールかハガキでお申し込み下さい。

e-mail ebanokai@yahoo.co.jp 〒870-8691 大分中央郵便局 私書箱122号

お問合せ先 NPOえばの会 090-1516-9565（吉本）

女性や子どもやセクシャルマイノリティなどに対する差別や暴力などが重大な人権侵害であることを社会に啓発活動するとともに、非暴力主義と男女平等を視点においた誰もが安全で安心に自由に暮らせる社会の実現を目的としています。

